

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

品川のぜん息患者は2500人 PM2.5を計測できる測定局を増やせ

PM2.5とは微小粒子状物質といい、肺の奥深く入り込んで肺がんの原因になるといわれています。2月頃、中国でこのPM2.5による大気汚染が深刻になっているというニュースが伝わってきましたのでご存じのことと思います。なぜ問題なのか、予算委員会で取り上げました。

SPM (浮遊粒子状物質) の10分の1の微小なもので肺の奥に入込んでしまう

PM_{2.5}の成分は炭素成分、硝酸塩、硫酸塩、アンモニア塩などです。地域や季節、気候条件などによって組成が変動するといえます。

また、発生は物の燃焼によるものと、環境大気中での化学反応により生成されるものがあり、自動車の排ガスも発生源のため、日本では新たな問題として対策が求められています。

とりわけ問題なのは、ごく小さい物質のために肺の奥まで入り込みやすく、ぜん息や気管支炎などの呼吸器系疾患のリスクが高いのです。また、肺がんや循環器系への影響も懸念されています。

2009年 環境基準が制定されたのは

今までの大気汚染物質の主なもの、二酸化窒素 (NO₂) と浮遊粒子状物質 (SPM) でしたが、PM_{2.5}が認識されたのは比較的最近のため、日本で環境基準ができたのは、わずか4年前の2009年です。

「人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準」として、1年平均値15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、かつ、1日平均値は35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることと定められました。

定められる以前は、「早く制定するよう国に求めよ」と区議会で繰り返し取り上げてきました。

区内のぜん息患者は2500人
24年度347人増に

質問でぜん息患者は2500人もいることがわかりました。新規の認定は、347人もいるのです。中国の問題と済まされない深刻さです。

魅力ある商店街にするために支援を求め 実現

商店街にとって 肉・魚・野菜など生鮮三品は必須アイテム

シャッター通りという表現で商店街の衰退状況をいうようになってずいぶん経ちます。品川区内の商店街も例外ではなく、消費者とりわけ高齢者などにとっては深刻な問題です。毎年、議会でも予算要望でも生鮮三品を扱う商店がなくならないように支援を求め続けてきました。やっと実現に。

大型店の進出で路線型商店街が衰退しつつあるという状況は品川区も同様です。

区の歴史は路線型商店街の発展とともにあっただけに、商店街の衰退は生活に大きな影響を及ぼします。特に、高齢者など「買い物弱者」といわれる方にとっては、社会問題にもなっています。

買い物弱者支援策とは

区はようやく「買い物弱者支援」として対策を昨年度から取り始めました。

調べてみると、区内71の商店街中、まだ1ヶ所（戸越公園南商店街）というのですが、8店舗で無料宅配サービスをしています。それぞれの店舗での対応のため、不十分な点はあるかもしれませんが、思いものを持ちかえれない方と

かには好評のようです。

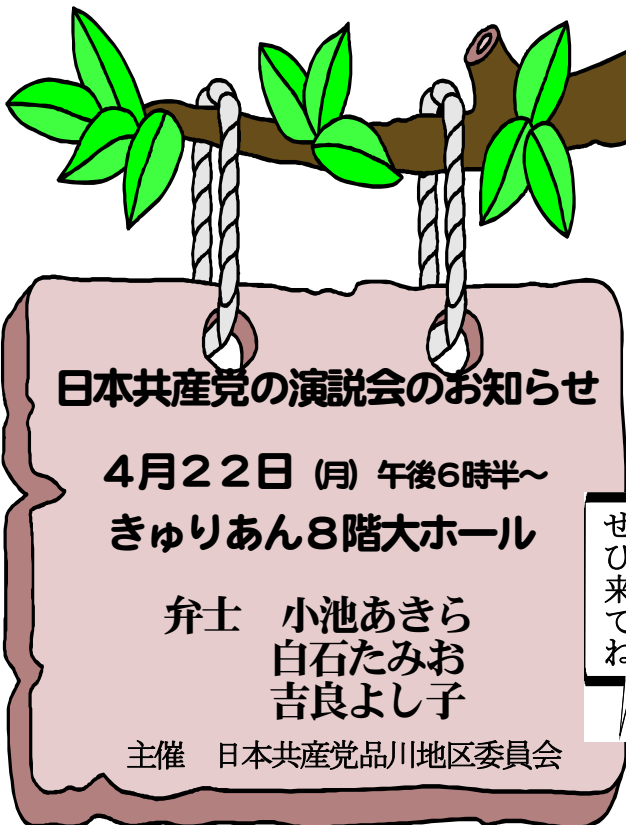
取り組む商店街がまだ少ないために予算額はごく少なく、宅配サービスを知らせるチラシの印刷代など七百七十五万円です。

生鮮三品店の支援事業

初めての事業のため貧弱な

内容だと思いましたが、取り組み始めたことを評価したいと思います。

内容は、期間限定で協力店（100件程度を募集）が保冷パックを配布することと、取り扱う店の紹介のためにチラシ作成経費を補助します。



日本共産党の演説会のお知らせ

4月22日(月) 午後6時半～
きゅりあん8階大ホール

弁士 小池あきら
白石たみお
吉良よし子

主催 日本共産党品川地区委員会

ぜひ来てね

生活・雇用・子育て・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523